

## 1. 需要と供給

1.  $D(p) = S(p)$  より  $a - bp = c + dp$  が成り立つから、これを  $p$  について解くと

$$p^* = \frac{a - c}{b + d}$$

となる。これを  $D(p)$  ないしは  $S(p)$  に代入すると、

$$q^* = \frac{ad + bc}{b + d}$$

が求まる。

2. (a)  $\varepsilon_d = \frac{p}{20-p}$ , (b)  $\varepsilon_d = 1$ , (c)  $\varepsilon_d = 0$ , (d)  $\varepsilon_d = \frac{bp}{a-bp}$ , (e)  $\varepsilon_d = \varepsilon$ .

3. (a) 国際価格が2だから、米の購入量は  $15 - 2 = 13$ , 国内販売量は  $2 \cdot 2 = 4$ , 輸入量は  $13 - 4 = 9$ , 国内自給率は  $4/13 (< 1/2)$  となる。

(b) 消費者余剰は

$$\frac{1}{2}(15 - 2)13 = 84.5$$

であり、生産者余剰は

$$\frac{1}{2} \cdot 2 \cdot 4 = 4$$

である。したがって自由貿易の際の総余剰は、 $84.5 + 4 = 88.5$  である。

(c) 国内自給率を  $1/2$  とするには、

$$\frac{D(p)}{2} = S(p) \iff \frac{15 - p}{2} = 2p \iff p = 3$$

が成立する場合である。これは1だけの関税を課すことに等しい。このときの米の購入量は  $15 - 3 = 12$ , 国内販売量は  $2 \cdot 3 = 6$ , 輸入量は  $12 - 6 = 6$  となる。

(d) このときの消費者余剰は

$$\frac{1}{2}(15 - 3)12 = 72$$

であり、生産者余剰は

$$\frac{1}{2} \cdot 3 \cdot 6 = 9$$

である。また、関税収入は  $1 \cdot 6 = 6$  である。したがって、関税を課した場合の総余剰は、 $72 + 9 + 6 = 87$  である。

(e) (b) と (d) の総余剰を比較して、関税による総余剰の損失分は  $88.5 - 87 = 1.5$  である。

4. (a) 課税前の均衡価格は、 $D(p) = S(p)$  によって  $p = \frac{1}{2}$  となり、均衡取引量は  $q = \frac{1}{2}$  である。課税が行われる際、消費者価格を  $p^D$  として生産者価格を  $p^S$  とすると、 $100\tau\%$  の消費税では  $p^D = (1 + \tau)p^S$  が成立する。需要と供給が一致する状況を生産者価格  $p^S$  を用いて表現すると、

$$1 - (1 + \tau)p^S = p^S$$

となり、他方消費者価格  $p^D$  を用いて表現すると、

$$1 - p^D = \frac{p^D}{1 + \tau}$$

となる。これらによって、

$$p^S = \frac{1}{2 + \tau}, \quad p^D = \frac{1 + \tau}{2 + \tau}$$

となる。均衡取引量は  $1/(2 + \tau)$  である。

(b) 縦軸に  $p^D$  をとると、供給曲線が左にシフトする。

(c) 縦軸に  $p^S$  をとると、需要曲線が左にシフトする。

(d) 課税後の消費者余剰  $CS$  と生産者余剰  $PS$  はそれぞれ

$$CS = \frac{1}{2} \left( 1 - \frac{1 + \tau}{2 + \tau} \right) \frac{1}{2 + \tau} = \frac{1}{2(2 + \tau)^2}, \quad PS = \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2 + \tau} \cdot \frac{1}{2 + \tau} = \frac{1}{2(2 + \tau)^2}$$

となる。

(e) 税収は

$$T = (p^D - p^S) \frac{1}{2 + \tau} = \frac{\tau}{(2 + \tau)^2} = \frac{1}{\tau + 4 + \frac{4}{\tau}}$$

となり、これが最大になるのは  $f(\tau) \equiv \tau + 4 + \frac{4}{\tau}$  が最小になるときである。その条件は  $f'(\tau) = 1 - \frac{4}{\tau^2} = 0$  であり、 $\tau = 2$  (200% の課税) が求まる。(実際に  $f''(\tau) > 0$  となるから  $\tau = 2$  が  $f(\tau)$  の最小値であることを確認せよ。)